2025年9月30日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会　ICT課

「国際園芸博覧会　サイバーセキュリティ対策業務委託」契約結果

国際園芸博覧会　サイバーセキュリティ対策業務委託　について、公募型プロポーザル方式で、受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

１ 件　名　　国際園芸博覧会　サイバーセキュリティ対策業務委託

２ 委託内容　　(1) 特権アクセス管理(2) 構成管理(3) 脆弱性管理(4) セキュリティ監視(5) インシデント対応(6) セキュリティ対策運用体制整備(7) リスクアセスメント(8) セキュリティ関連規定類の策定・管理(9) セキュリティ教育(10) セキュリティ監査・システム審査(11) インシデントハンドリング(12) 問合せ管理　等

３ 契約の相手方　　NECセキュリティ株式会社

４ 契約金額　　968,000,000円（税込）

５ 契約日　　2025年9月30日

６ 評価結果

提案者	評価点数	順位
NECセキュリティ株式会社	10630	1
PwCコンサルティング合同会社	9284	2

７ 評価基準・評価委員会開催経過等

委員会開催日時	2025年7月4日（金）9時00分～12時00分
委員会開催場所	公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会　6階大会議室
評価委員の出席状況	評価委員5名中5名出席
事務局	公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会　ICT課
議事内容	・プロポーザル評価委員会についての説明 ・提案による説明 ・評価委員による提案者へのヒアリング ・評価委員会による議論 ・評価集計、評価決定
評価基準	別紙のとおり

8 選定委員会委員（敬称略）

下記のとおり。

氏名	所属・役職	担当分野等
金岡　晃	東邦大学　理学部情報科学科知能情報科学部門　教授	ユーザブルセキュリティ、VR/ARセキュリティ、暗号技術応用
後藤　厚宏	情報セキュリティ大学院大学　教授	インターネットセキュリティ技術とID管理技術、ビッグデータ向けクラウドコンピューティング技術、モバイルクラウドセキュリティ
八尾　崇	京都府警察サイバーセキュリティ戦略アドバイザー株式会社ラック　コンサルティング統括部　アカウントコンサル ティングサービス部シニアコンサルタント	サイバーセキュリティ、セキュリティ教育、大規模イベントサイバーセキュリティ運営
湯淺　墾道	明治大学　専門職大学院ガバナンス研究科　教授	個人情報・プライバシー保護、電子投票・インターネット投票、サイバーセキュリティ
吉岡　克成	横浜国立大学　大学院環境情報研究院／先端科学高等研究院　教授	サイバーセキュリティ、情報システムセキュリティ

9 最優秀提案者の選定理由（講評）

・非機能要件及びセキュリティ要件への対応が明確に示されており、実施体制が具体的である。

・豊富な業務実績があり一定の技術力と経験は確認できるものの、提案書での記述が概念的・一般的にとどまっている箇所が多く、提案内容の有効性・実現性が十分とは言えない点は課題。

・インシデントレスポンスに関しては、セキュリティ対応が Splunk ベースであり対応できないシステムは 対象外となるなど不安点はあるものの、層の厚い対応が期待できる。

・インシデントハンドリングにおいてオンサイト対応を重視しているほか、仕様書以外の独自の提案が多く、積極的である。

・意欲的な体制や提案内容を含んでいる。

10 問い合わせ先

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

担当：ICT課　瀧口、大岩

TEL：045-307-2110

国際園芸博覧会　サイバーセキュリティ対策業務委託のプロポーザルに係る
提案書評価基準

表１の評価項目、評価のポイント、配点のもと、評価を行います。

表１

評価項目		評価のポイント	配点
業務実績		（絶対評価） ・同種又は類似の業務の実績がある	
提案内容（基本要件）	基本要件	（絶対評価） ・要件を満たしている/満たす旨明記されている （加点評価（3段階）） ・入場券販売開始時期を考慮し、想定スケジュール案に図示された運用開始時期より前に各業務を開始する提案があり、合理性・実現性が認められる ・全体スケジュールにて段階的な運用拡大や設計の随時更新等の提案があり、効率的・効果的と認められる	200
提案内容（運用設計・管理業務）	特権アクセス管理 構成管理 脆弱性管理 セキュリティ監視 インシデント対応	（絶対評価） ・要件を満たしている/満たす旨明記されている （加点評価（3段階）） ・提案者の業務経験・実績を踏まえた提案になっており、内容の合理性・実現性が認められる ・設計・運用手段が具体的に示され、実現性がある ・提案内容の特長が具体的に示され、効率的・効果的と認められる ・業務説明資料に記載のない要件や観点が追加提案されており、協会にとって有益である ★インシデント発生時のオンサイト対応について、対応までの所要時間等が記載され、意欲的である（インシデント対応の項目のみ）	1050
提案内容（運用支援業務）	共通	（加点評価（3段階）） 協会事務所にて業務を行う人員について、提案された人数やその能力が充実しており意欲的である	1450
	セキュリティ対策運用体制整備 リスクアセスメント セキュリティ関連規程類の策定・管理 セキュリティ教育 セキュリティ監査・システム審査 インシデントハンドリング	（絶対評価） ・要件を満たしている/満たす旨明記されている （加点評価（3段階）） ・提案者の業務経験・実績を踏まえた提案になっており、内容の合理性・実現性が認められる ・設計・運用手段が具体的に示され、実現性がある ・提案内容の特長が具体的に示され、効率的・効果的と認められる ・業務説明資料に記載のない要件や観点が追加提案されており、協会にとって有益である ★対応にかかる所要時間が明示され、協会内外との連携等きめ細やかで迅速な対応が見込まれる（インシデントハンドリングの項目のみ）	
提案内容（共通業務）	問合せ管理	（絶対評価） ・要件を満たしている/満たす旨明記されている （加点評価（3段階）） ・提案者の業務経験・実績を踏まえた提案になっており、内容の合理性・実現性が認められる ・設計・運用手段が具体的に示され、実現性がある ・提案内容の特長が具体的に示され、効率的・効果的と認められる ・業務説明資料に記載のない要件や観点が追加提案されており、協会にとって有益である	50

提案内容（非機能要件・セキュリティ要件）	（絶対評価） ・要件を満たしている/満たす旨明記されている	
提案内容（プロジェクト管理）	（加点評価（3段階）） ・具体的に示され、内容の合理性・実現性が認められる	24
提案内容（追加提案）	（加点評価（3段階）） ・仕様書に明記がない内容について、有益な提案がある	100
ワーク・ライフ・バランスに関する取組等	（絶対評価） ・提案書作成要領に記載の項目を満たしている（各項目1点）	6
価格点	420-（提案額-最低提案額）÷500000 （小数点第1位以下は切り捨て）	420
合計		3300

評価方法

(1)　業務実績、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等、価格点については、１者ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。

(2)　提案内容の内、絶対評価となる部分は、１者ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。

(3)　提案内容の内、加点評価となる部分は、１者ごとに各評価委員が評価を行う。

(4)　業務実績、提案内容、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等、価格点の評価点の合計を評価委員全員分集計し、その合計点を当該提案者の評価結果とする。

(5)　評価点は、評価委員１名につき 3300 点満点とし、評価委員全員の合計で 3300 点×５名＝16500 点で満点とする。

(6)　評価点について最上位の者が２者以上同点となった場合には、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。

(7)　共同企業体を組成する場合、業務実績は、１者以上の構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。

(8)　共同企業体を組成する場合、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、代表者たる構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。

(9)　評価委員が欠席した際には、その委員の評価点は無効とし、委員会に出席した委員のみで評価を行う。